

第7次福島市総合計画の策定に向けた

第2回 市民ワークショップ

理想の福島市を実現するために「大切なこと」
を考えよう！

日時：令和7年2月2日(日)
13:30～16:15

会場：ホテル福島グリーンパレス
2階 瑞光の間



ワークショップの参加者構成

◆参加者構成

〈内訳〉

属性		人数
学生	高校生	12
	大学生	13
社会人	各産業従事者	17
	創業者	5
	移住者	5
	子育て世代	9
	関係団体等	26
公募	一般枠	13
合計		100

〈年代別〉

年代	人数
10代	16
20代	27
30代	11
40代	18
50代	11
60代	7
70代	10
合計	100

〈男女比〉

男	女	合計
47	53	100

令和7年2月時点の全体の参加者構成です。

第1回ワークショップ終了後、ぜひ参加したいと強い意志をもった学生等もメンバーに加わり、100名となりました。

第2回ワークショップには66名の方にご参加いただきました。

第2回ワークショップのスケジュール

時刻	内容	
13:30	開会・政策調整部長あいさつ	部長から参加の御礼やワークショップの目的について話がありました。
13:35	オリエンテーション・ ウォーミングアップ	班の中で「ワークショップへの期待」を話し合いました。
13:55	福島市からの情報提供	「第1回ワークショップの振り返り」「市民アンケートの結果」「福島市の人口状況」について市から説明した後、班で感想を話し合いました。
14:15	【ワーク①】「理想の福島市像を確認する」	「第1回ワークショップで出された意見(理想の福島市像)」について班で確認し、具体的なイメージを膨らませました。
14:45	休憩	
15:00	【ワーク②】「理想の福島市を実現するために『大切なこと』を考える」 ※バックキャスト思考で実施	ワーク①で確認した理想像が実現された、10年後の福島市にタイムリープし、その時点から振り返って「大切にしてきたこと」について話し合い、特に重要なものを3つ選びました。 (個人の考えを付箋に書きそれを模造紙に貼っていく)
15:50	共有	他の班の模造紙を見て回り、特に重要な意見のうち共感するものにはシールを貼りました。
16:00	クロージング	班の中で「ワークショップの感想」を話し合いました。
16:10	事務連絡・閉会	第3回ワークショップに関する事務連絡をしました。

「開会・政策調整部長あいさつ」の様子



野田政策調整部長から

「前回以上に皆さんの意見交換が活発になることを期待しています」とのメッセージが伝えられ、第2回ワークショップがスタートしました。

「オリエンテーション・ウォーミングアップ」の様子



★前回とは違うメンバーで
グループ分けをしました。



① 本番前のウォーミング
アップとして、今の気持ち
(ワークショップへの期待)
を参加者それぞれが用紙に
記入しました。

② 書いたことを班の中で
紹介し合い、お互いを
知ることで緊張を和らげ
ました。



参加者の声「ワークショップへの期待」

ウォーミングアップの際にお話しいただいた皆様の声を一部紹介します。

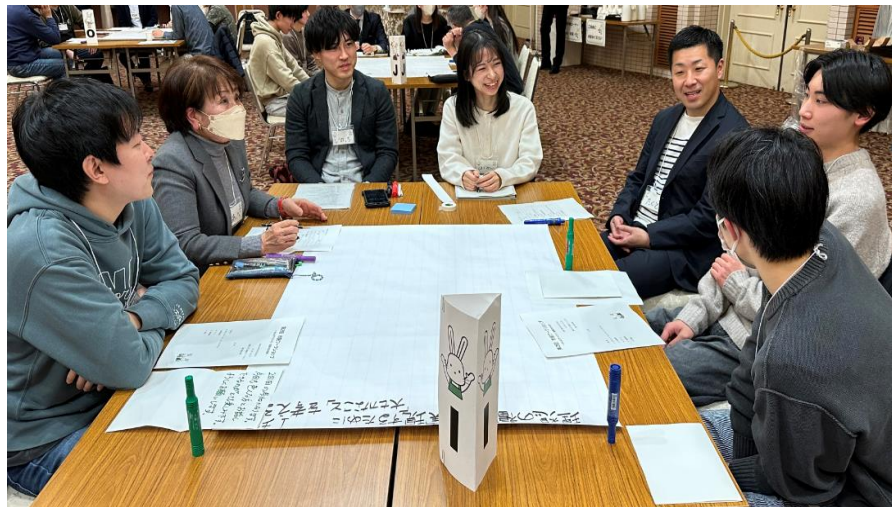
- 話す・聞くのバランスをとりながら話し合いができたと思う！素直に楽しみ！
- 緊張しています。仕事では話せるのですが...
- より住みやすい福島市にしたいので、がんばって頭を働かせます！
- ワークショップのような機会になかなか参加したことないので、ドキドキ不安。
- 未来のことって難しそうと思いますが、一生懸命考えます！
- 緊張しているが、福島市について話し合うことへの期待、ワクワク感もある。
- うまく話せるか不安...だけど、皆さんの意見を聞くことができるのが楽しみです。
- 1回目終了後、じっくり考えてきました。がんばって発言したいと思います！
- 日常生活ではなかなかできない機会なので、落ち着いて、ゆっくりと福島市について考えたいと思います。
- どんなことがはじまるのかワクワク、話し合ったことが、どう活かされるのか楽しみ～福島市、変わった！が実感できるといいな。
- どんな話が聞けるのか楽しみ！子どもたちにどんな未来を残せるか、じっくり考えます。
- 今日はどんなすてきな意見が出て化学反応が起きるのか、とても楽しみ！

「福島市からの情報提供」の様子

- ① 前回のワークショップで出された意見や市民アンケートの結果、福島市の人口状況について、職員から説明がなされました。
※詳細は別添「福島市からの情報提供」をご参照ください。



- ② 隣席の方と感想を共有した後に、班の中で一人ずつ発表しました。



福島市からの情報提供: 第1回ワークショップで出た意見

福島市の

「10年後も変わらないでいてほしい」

おいしい果物や野菜が食べられるまち

花見山など、豊かな自然が
たくさんあるまち

福島市民の優しさや温かい心が
次世代につながっているまち

土湯温泉などの温泉街が
活気を保っているまち

わらじ祭りなどの行事が盛んなまち

「10年後はこう変わってほしい」

様々な世代が集まれるような場所
があるまち

きれいなまちランキングでNo. 1 に
なるまち

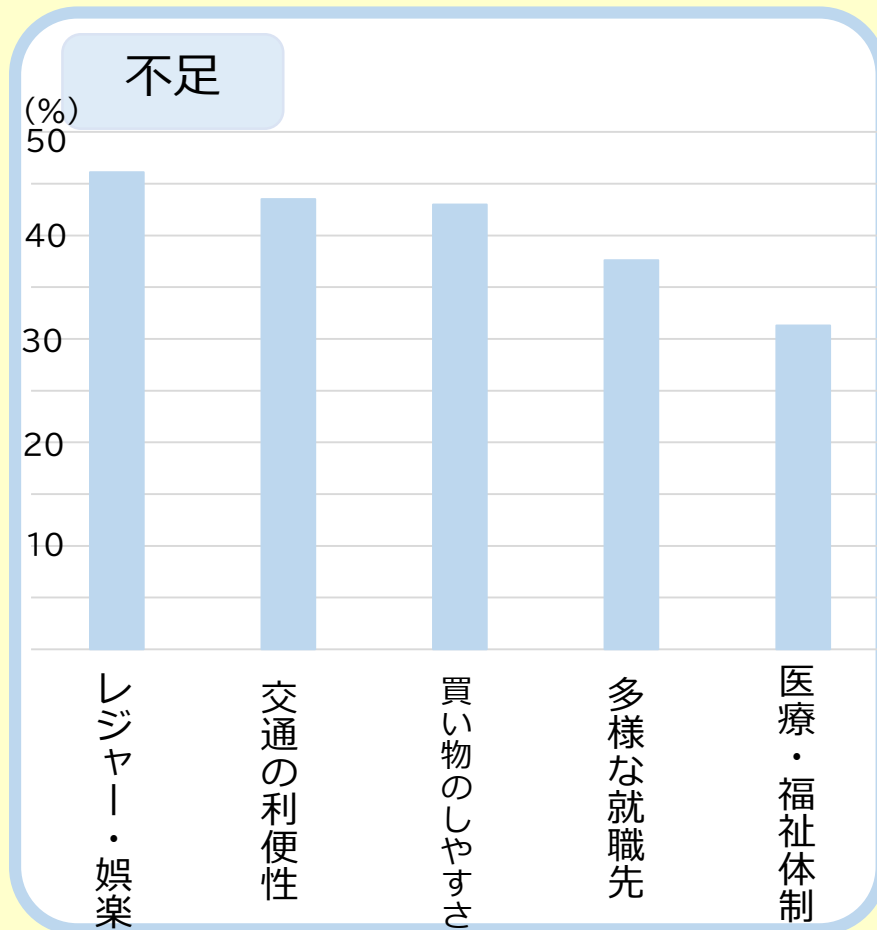
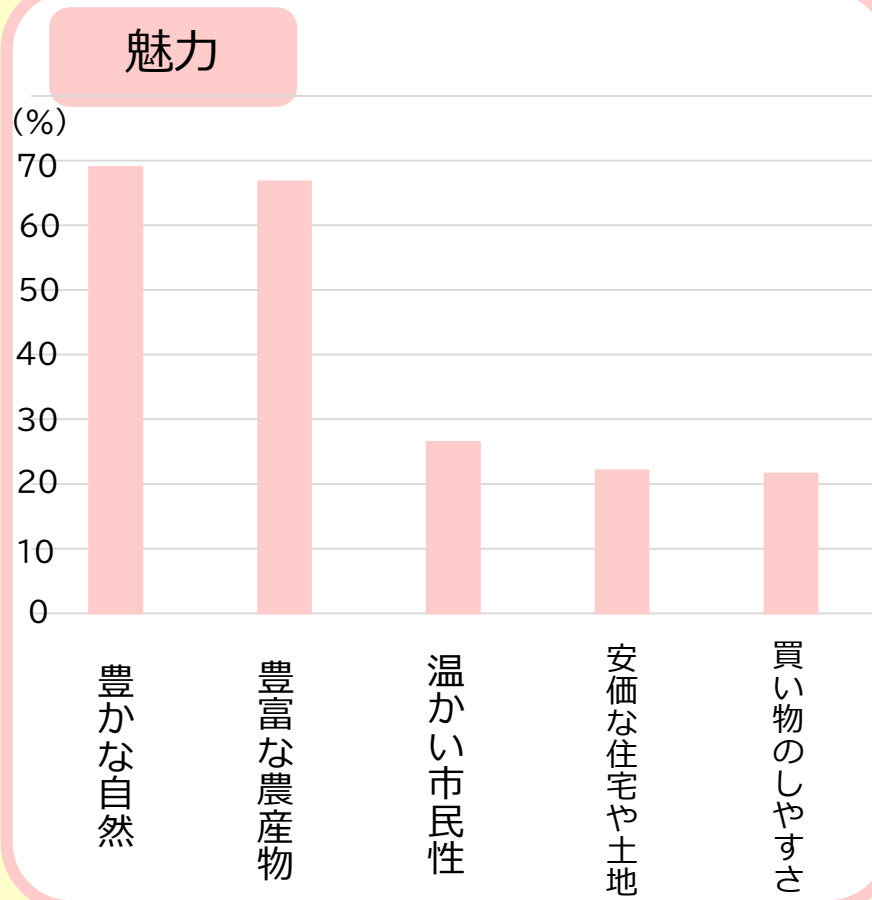
音楽、グルメ、学生イベントが
盛んなまち

若者が福島市に残ろうと思えるまち

こどもが安心して遊べる公園などが
たくさんあるまち

福島市からの情報提供：市民アンケートの結果

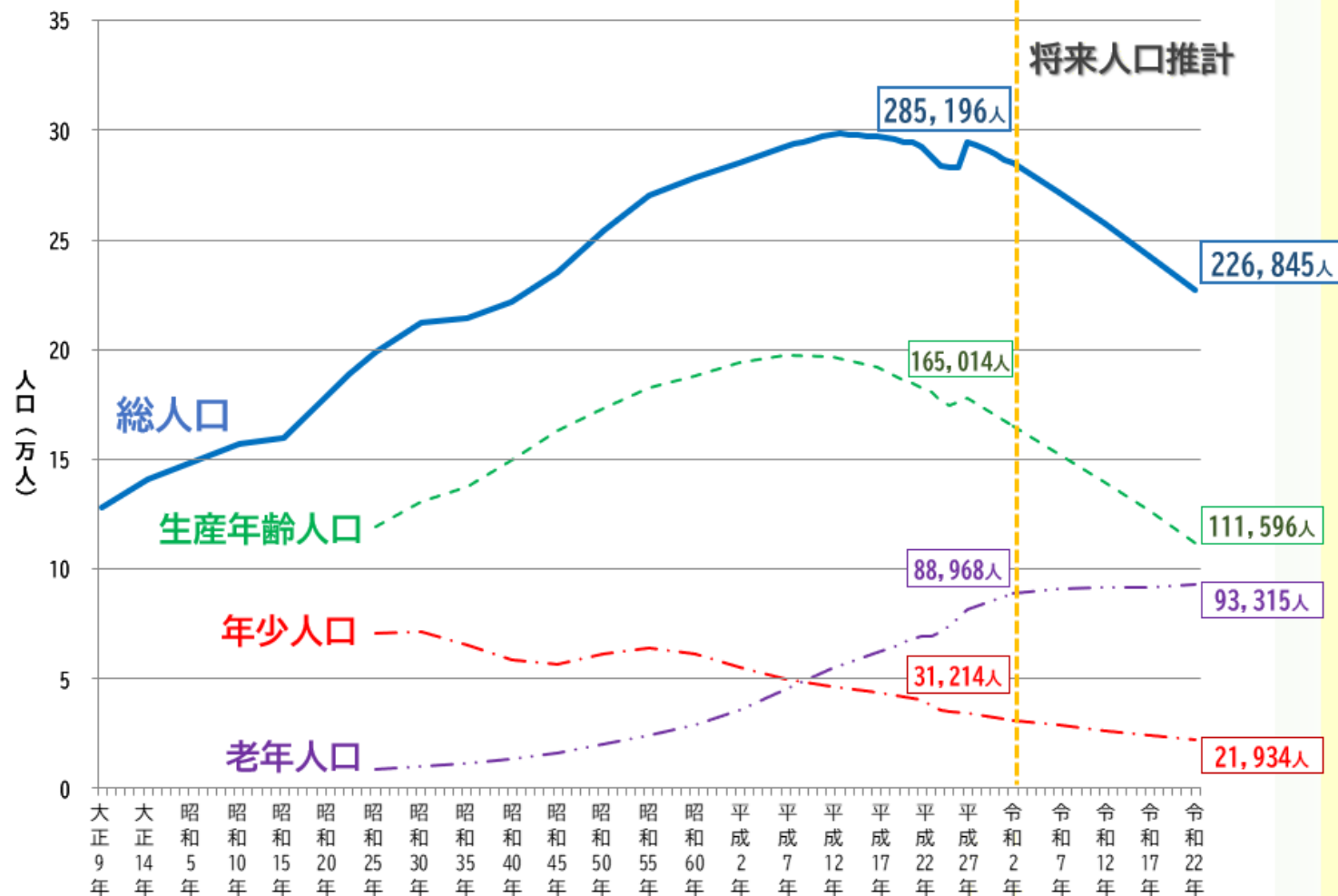
「福島市の魅力と不足(トップ5)」



※市民アンケートでも、ワークショップと同じような問いかけをおこない、回答していただきました。

福島市からの情報提供: 福島市の人口状況

【福島市の将来人口推計～2040（令和22年）】



「ワーク①:理想の福島市像を確認する」の様子

- 第1回ワークショップで話し合った「10年後も変わらないでいてほしい」「10年後はこう変わってほしい」ことについて、下表のとおり関連するテーマごとに集約しました。
- 第2回ワークショップでは、事前に皆様へ下表の興味・関心のあるテーマ番号を聞き、その意向に沿ってグループ分けをしました。

テーマ	理想の福島市像≡「10年後も変わらないでいてほしい」「10年後はこう変わってほしい」のまとめ
1	「吾妻山や荒川など、美しい自然と景観が残っている」 「ごみがなく緑化され、きれいなまちランキングでNo.1になっている」
2	「わらじ祭りなどの地域の伝統文化を通じた世代間の交流がある」 「福島市民の優しさや温かい心が次世代につながっている」
3	「地元で就職したい若者の選択肢が広がり、福島市に残る人が増えている」 「くだもの大国として世界に発信されている」
4	「商業施設、公共施設などが充実していて、様々な世代が集まる場所がある」 「駅前にひとが集まり、にぎわいが生まれている」
5	「学業や就職の選択肢が増えていて、若者たちが”やりたい”にチャレンジできている」 「子育て世帯が「暮らしやすさ」を感じ、女性の転出が抑えられ、人口が流入している」
6	「治安の良さや、福島市民の人柄による平和が維持されている」 「歩道が広く整備され、明るい街灯が増えて、安全な通学路が確保されている」

※一部抜粋して載せています。

詳細は、別添「グループ分けにおけるテーマ一覧」をご参照ください。

「ワーク①:理想の福島市像を確認する」の様子

「第1回ワークショップで出された意見(理想の福島市像)」について班で確認し、具体的なイメージを膨らませました。

①イメージ（具体像）を班の中で共有しました。



②班の中で、新たにトピックとなりそうな項目が浮かび上がった際は、追加しました。

「ワーク②:理想の福島市を実現するために『大切なこと』を考える」の様子

ワーク①で確認した理想像が実現された、10年後の福島市にタイムリープし、その時点から振り返って「**大切にしてきたこと**」について考え、班で話し合いました。

①考えを付箋に書き、班の中で紹介しながら模造紙に貼っていきました



②班の中で、どれが重要か話し合い、「特に重要！」という付箋を3枚程度選んで、マーカー囲みました。



「ワークの結果の共有」の様子

近くのテーブルの模造紙を見て回り、マーカーで囲まれた意見のうち、共感するものに赤いシールを貼りました。



ワークショップ全体を通して
和気あいあいとした雰囲気
が進められ、自然と参加者間の
交流も生まれていました。

完成した模造紙の一例

理想の福島市を実現するために大切なこと K班

① 学業や就職の選択肢が増えていて、若者たちが“やりたい”にチャレンジできている

② 子育て世帯が「暮らしやすさ」を感じ、女性の転出が抑えられ、人口が流入している

③ こむこむなど、子ども時代にいろいろな経験できる場所・機会がある

④ 個人の意見を付箋に書き、班で紹介しながら模造紙に貼る

⑤ 班で話し合いながら付箋を追加していく

⑥ 重要なものを3つ程度選び赤丸で囲む

⑦ 他クラスの意見を見て共感したものにシールを貼る

⑧ 学生イベントが盛んに行われている

⑨ 自治地域をつくる一員だと思える

⑩ 学生イベントが盛んに行われている

⑪ 学生イベントが盛んに行われている

⑫ 学生イベントが盛んに行われている

⑬ 学生イベントが盛んに行われている

⑭ 学生イベントが盛んに行われている

⑮ 学生イベントが盛んに行われている

⑯ 学生イベントが盛んに行われている

⑰ 学生イベントが盛んに行われている

⑱ 学生イベントが盛んに行われている

⑲ 学生イベントが盛んに行われている

⑳ 学生イベントが盛んに行われている

㉑ 学生イベントが盛んに行われている

㉒ 学生イベントが盛んに行われている

㉓ 学生イベントが盛んに行われている

㉔ 学生イベントが盛んに行われている

㉕ 学生イベントが盛んに行われている

㉖ 学生イベントが盛んに行われている

㉗ 学生イベントが盛んに行われている

㉘ 学生イベントが盛んに行われている

㉙ 学生イベントが盛んに行われている

㉚ 学生イベントが盛んに行われている

㉛ 学生イベントが盛んに行われている

㉜ 学生イベントが盛んに行われている

㉝ 学生イベントが盛んに行われている

㉞ 学生イベントが盛んに行われている

㉟ 学生イベントが盛んに行われている

㊱ 学生イベントが盛んに行われている

㊲ 学生イベントが盛んに行われている

㊳ 学生イベントが盛んに行われている

㊴ 学生イベントが盛んに行われている

㊵ 学生イベントが盛んに行われている

㊶ 学生イベントが盛んに行われている

㊷ 学生イベントが盛んに行われている

㊸ 学生イベントが盛んに行われている

㊹ 学生イベントが盛んに行われている

㊺ 学生イベントが盛んに行われている

㊻ 学生イベントが盛んに行われている

㊼ 学生イベントが盛んに行われている

㊽ 学生イベントが盛んに行われている

㊾ 学生イベントが盛んに行われている

㊿ 学生イベントが盛んに行われている

①個人の意見を付箋に書き、班で紹介しながら模造紙に貼る

②班で話し合いながら付箋を追加していく

③重要なものを3つ程度選び赤丸で囲む

④他クラスの意見を見て共感したものにシールを貼る

参加者の声「ワークショップの感想」

クロージングの際にお話しいただいた皆様の声を一部紹介します。

- 話すことで、福島市のことをより考えることができた！そして楽しかった！
- 話し合いが盛り上がったので、時間が短く感じました。学生⇒社会人に立場が変わっても、続けて参加して福島市を考えたい！
- 現役の学生から退職された方のお話まで聞けて、発見がたくさんありました。
- たくさん話せて満足です！市民の1人であるということ、お互いさまの精神で自分には何ができるのか、考えて過ごそうと思います。
- 最初はドキドキだったが、実際にしゃべってみると自分の頭の中が整理されて良かった。行動の大切さを知れました。
- 出てきたアイデアが本当に実現したらいいな～と思い、ワクワクしました！
- いろんな考え方が、新たな発見につながり、学びの場となった。違うテーマでも大切なことは共通していた。
- 皆さん熱い思いをもっていて、それを聞いてすごく良い刺激になりました。
- 「直接、人と会って話し合う」これが大切だ！と思いました。
- 考えが共有できて、意見交換ができる、今日のような場がずっとあると良いなと思いました。
- ここにいるみんなが福島市のことを考えていると思うと嬉しくなりました。ワークショップに参加してみる！これが大事だな。